

横浜市立城郷中学校
令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p>「志す・翔く・拓く」</p> <p>知：自らの課題に根気強く向き合い、学び続ける力を育みます。 徳：共感、共生の大切さと楽しさに触れ、豊かな感性を育みます。 体：生命や心身の健康を尊重し、たくましく生きる力を育みます。 公：相互に協働し、豊かな人間性と社会性を高める力を育みます。 開：多様性を尊重し、新たな価値をすすんで創造する力を育みます。</p>	<p>〈社会で活用できる知識・技能〉 〈未知の状況に対応できる問題発見と解決能力〉 〈多様性を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力〉</p>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の組織力の向上を図るとともに、地域、小学校との連携・協同を推進することで、活力のある学校を目指します。 ・学校運営協議会への理解を深め、協議会との連携に積極的に取り組むことで、より確かな組織的な学校経営を目指します。 ・特別支援教育の重要性を意識し、生徒一人一人を大切にした指導を目指します。 ・いじめの予防発見や人間関係のトラブル防止のために、生徒の活動場面等を丁寧に観察し、個に応じた指導を目指します。 ・警察、少年補導員、地域防災拠点等との積極的な交流を一層推進し、より確かな防犯、防災体制作りを目指します。”

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①基礎・基本の重要性を理解させるとともに、個に応じた授業の質的向上を目指す。 ②既習した事項を活用し、課題解決能力や自ら進んで学習する態度を養う。
担当 学習指導部	③「学習相談」を効果的に活用し、学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指す。

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

全体的に、横浜市の平均をやや下回る状況にあるが、一昨年までは徐々に学力が回復する傾向が見られていた。昨年度の調査は実施されなかったため不明瞭な部分もあるが、ここ数年は学習意識の上昇が顕著であり、学校ではたらきかけの成果が表れていた。昨年度、子どもからの聞き取りでも学習不安を訴える生徒もいたため、今後も家庭学習の一層の定着を図りたい。また、全職員が学力向上のためのプランを理解し、日々の学校生活での生徒の学習支援に一層の力を入れていく事が重要だと考えている。

(2) 教科学習の状況

学年により各教科に対する学力の差も非常に大きい。学習に向かう意識や生活意識は学年を追うごとに上昇はしているが、どの教科についても、成果はなかなか見えてこないのが現状である。基礎・基本の学力定着のための一層の努力を要する。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

全学年を通し、年々学習意識が上昇してきていたが、昨年度は教育相談やアンケート等を通して「学習に不安を感じる」と答える生徒も多かった。今年度も生徒の不安を少しでも解消できるようにはたらきかけを継続するとともに、生徒の学習意欲の定着、家庭学習の充実に向けて保護者の方々との協力を継続していくことなどがより有効になると考えている。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	基礎基本の定着	授業への積極的な取り組みを通して基礎・基本の言語能力を高め、豊かな言語活動の充実を図る。	一人ひとりが自己の考えを持ち、グループ活動等によって、その考えをより高め、充実させる。
社会	主体的に社会参画する姿勢	地域や身近な課題に対して、学習した内容と関連付けて考え、自己表現できる学習を展開する。	日々変化する社会事象に対して、学習した内容と関連付けて考え、より良い解決に向けて他者と協議する学習を展開する。
数学	先を見通す力	数量や図形の基礎・基本的な概念を理解し、数学的に解釈し、表現・処理したりする技能を養う。	数学的活動の楽しさやよさを実感し、粘り強く考え、数学を生活や問題解決に生かそうとする態度を養う。
理科	科学的に探究する力	問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈する力を養う。	見通しをもって観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、特徴、規則性、関係性を見だし表現する力を養う。
音楽	豊かな感性と表現	合唱や鑑賞を通して、音楽について根拠をもって具体的に説明できる力と豊かな人間性を養う。	器楽（和楽器を含む）や創作活動を通して、他者理解と情操教育の充実させ、自ら解決する力を養う。
美術	豊かな感性と表現	技法や道具の使い方などの基本的な技能を身に付けるとともに、自分らしい表現を追究し豊かに表す力を養う。	つくりたいことや表したいこと、見たいことなど、自ら課題を見つけ、表そうとする態度を養う。
保体	運動に親しみ、心身の健康を保持増進する。	運動の特性に触れ、基礎的な技能を習得するとともに、健康・安全な生活について理解する。	運動・健康についての課題を発見して、仲間と協働しながら解決を図ることができるようにする。
技・家	基礎的な理解を図るとともに基礎的な技能を身に着ける	生活体験等と関連付けながら、基礎的な理解を図る。	製作や実習を通して、基礎的な技能を身に着ける
外国語	バランスのとれた4技能の育成	単語練習や英文練習を繰り返す行い、基礎的な力の定着を図る。	AETや生徒相互のコミュニケーションを図る場面を設定し、4技能のバランスのとれた育成を図る。
道徳	規範意識の向上と思いやりの心	読み物教材や視聴覚教材を活用し、他者を思いやる心を育む。	ロールプレイなどのグループワーク、話し合い等によって、相互理解や良好な人間関係を築く道徳科の授業を展開する。
特活	学校生活へ参画する姿勢	所属する様々な集団や生活の中で、課題を見出し、その解決のために話し合い、合意形成をはかったり、意思決定したりする活動を設定する。	意思決定したことを実践し、集団の一員として役割を果たすことの大切さを実感できるようにする。
総合	主体的に学び、より良い生き方を求める力	探究的な学習の課程において、課題解決に必要な知識・技能を身に着け、他者と協働することで、問題解決につなげられることの良さを知る。	自ら課題を立て、多面的・多角的なものの見方や多様性の有効性を解し、自らの考えを表現できるようにする。
個別級	・課題に対応する力 ・様々な情報を活用・選択する力	・個別指導計画に基づき、個々に合った指導を図る。 ・学習集団の構成を工夫し、指導の充実を図る。	発表する機会を増やし、自己表現能力の育成を図る。